東洋大学

News Release
報道関係各位

2026 年 11 月 24 日
学校法人 東洋大学

東洋大学、「生成 AI 利用ガイドライン」を公開

―「諸学の基礎は哲学にあり」の精神で、自由かつ自律的な生成 AI 活用を推進―

東洋大学（本部：東京都文京区／学長：矢口悦子）は、建学の精神である「諸学の基礎は哲学にあり」を軸に、学生・教員・職員が自身の責任に基づき自由かつ自律的に生成 AI を活用するための考え方を示した『東洋大学生成 AI 利用ガイドライン』を公開しました。

●東洋大学 生成 AI 利用ガイドライン：
https://sites.google.com/toyo.jp/toyonet/information/生成 ai

◆ 東洋大学ならではの特色あるポリシー「禁止」ではなく「哲学」で問い直す AI 活用

本学では、創立者・井上円了が掲げた「諸学の基礎は哲学にあり」の精神を、『東洋大学 生成 AI 利用ガイドライン』の基軸に据えています。日々めまぐるしく進化していく技術革新を細かに規制し遠ざけるのではなく、「何を禁じるかではなく、どう使っていくか」、さらには「いかに物事の本質を見極めるか」を、一人ひとりが考え続ける姿勢を重視しています。こうした姿勢は、生成 AI 時代で新たに求められる能力ではなく、2027 年度に創立 140 周年を迎える東洋大学の歴史の中で、これまでのどの時代にも大切に培ってきた力として位置付けています。

こうした理念のもと、多様な構成員が生成 AI 利用のリスクを正しく理解した上で、学習・研究・業務の質を高めるための指針を示しています。

◆『東洋大学 生成 AI 利用ガイドライン（共通編）』の主な柱

『東洋大学 生成 AI 利用ガイドライン』は共通編、学生編、教員編、職員編から成り立ちます。

『共通編』では、全構成員が遵守すべき基盤として、「基本姿勢」と「基本原則」を定めています。生成 AI を、人間の判断と創造性を補助するツールとして前向きに活用し、主体的に考え行動する人材の育成につなげる一方、最終的な成果物の内容と正当性については、作成した本人が責任を負うことを明確にしています。

【基本姿勢】

1．活用促進と適切管理の両立： 生成 AI の利点を認め、学習・研究・業務の質の向上に役立てることを推奨します。同時に、リスクを正しく理解した上での利用を求めます。また、生成 AI の利用が社会や環境に与える影響にも関心を持ち、目的に照らして利用してください。

2．自律と責任： 生成 AI の利用は、利用者本人の責任において行うものとします。生成 AI の出力を成果物に用いる場合は、その内容を自ら確かめ、説明できる状態にしてください。

3．継続的な見直し： 生成 AI 技術は急速に進化しています。本ガイドラインは技術動向・法令改正・社会状況の変化に応じて継続的に改訂します。

東洋大学

【基本原則】

1.生成 AI は、人が目的を定めて使う道具です。思考や判断そのものを委ねるべきではありません。
2.生成 AI の出力をどう使うかの判断と、その内容を説明し責任を負うのは人です。
3.生成 AI の出力を出発点に、内容を確かめ、より良いものにしてください。
4.生成 AI を使う場合も、他者の権利や個人情報・機密情報、安全をこれまでどおり尊重します。

◆学生・教員・職員それぞれに応じた生成 AI 活用の支援（各編の展開）

『共通編』を前提とし、学生・教員・職員それぞれの具体的な活用を支える指針として、教員・学生向けの各編を展開します。また、職員向けには自分で考えることをより大切に参考書としてみてもらうために『職員編ガイドブック』を施行します。これらを通じて、教育・研究・業務の質向上と創造的な活動に充てる時間の創出を目指します。

◆東洋大学の生成 AI 利用環境について

ガイドラインの理念のもとで安全に試行錯誤できるよう、入力データが AI の学習に利用されない保護された大学アカウント環境において、全学生が生成 AI（Gemini 等）を利用できる体制を整備しました。

【学校法人　東洋大学について】

東洋大学は 1887 年に哲学者・井上円了により「哲学館」として創立され、「諸学の基礎は哲学にあり」「独立自活」「知徳兼全」を建学の精神としています。創立者の志を受け継ぎ、東洋大学の教育理念である「自分の哲学を持つ」こと、「本質に迫って深く考える」力、「主体的に社会の課題に取り組む」姿勢を育んでいます。また、「他者のために自己を磨き、活動の中で奮闘する」という“東洋大学の心”を基に、地球社会の未来に貢献する大学を目指します。2026 年現在、白山、赤羽台、川越、朝霞キャンパスに 14 学部 51 学科・専攻と大学院 15 研究科を擁する総合大学へと発展しました。
東洋大学 HP: https://www.toyo.ac.jp/

【本件に関する報道関係の方からの問い合わせ先】
東洋大学　総務部広報課　TEL：03-3945-7571　MAIL：mlkoho@toyo.jp